

今回は、冬季限定の釣りイベント『氷上ワカサギ釣り』へ行ってきました。北海道内だけでも沢山の釣り場があり、最近では冬の観光ツアーのアクティビティとして好評のようです。

私が通っている釣り場は、自宅近くの凍った河川ですが、ちょっと人と違う釣り方があります。それは日中ではなく夜釣りをすること。以前は私も、早朝から日没までワカサギ釣りをしていたのですが、夜間は釣れないのかとふと疑問を感じました。試しに夜釣りを実行してみたところ、予想以上の入れ食い状態となり、その時以来夜釣り専門となってしまいました。

釣れる理由として、夜間はひとけも無く静かなこと、鳥などの天敵もいないのでワカサギの警戒心が薄れることがあります。日中は水底の深い所に定位しているようですが、夜間は水面付近で泳ぐ様子も見られるので間違いなさそう。(注:個人的見解です!!)

真っ暗闇の中、苦行のような釣りのため人にお勧めすることはできませんが、極寒のテントの中で食べるカップ麺の味が忘れられず、次の機会を検討中です。

札幌営業所(所長:清水 壮次郎)

立春を過ぎたとはいえ、まだまだ寒い日が続いておりますが、皆さまお変わりありませんか。今年2月に、福岡を拠点とした西日本物流センターが開設となり、今回私はそこへ異動となりました。2014年から現在に至るまでの11年間、皆様より多くのご愛顧賜りましたこと、誠にありがとうございました。

さて、今回の東京より福岡への異動は空路なのですが、搭乗させていただいたのはANA航空様です。また、普段は通路側に座るのですが、今回は景色を眺めようと、窓側にいたしました。CAさんのプロフェッショナルなおもてなしを楽しみ、広大な関東平野から富士山へのルートをじっくりと眺めて福岡への空路を満喫しました。

窓からは航空機のエンジンが見えていました。今回乗った飛行機には、イギリスのロールス・ロイス製のエンジンが搭載されていました。自動車の最高級車THE-BESTという誰もが認めるクルマを造る会社が製造する航空機エンジンです。ロールス・ロイスの創業者の一人、フレデリック・ヘンリー・ロイスの名言のひとつに「その価格は忘れ去られても、品質は残る」という言葉があります。そして、「ベストなものを、さらに良くすべし」とも。

たまたま窓際に乗ったことで、ロールス・ロイス製のジェットエンジンに気づき、またひとつ学ぶことができました。まだまだ肌寒い時期が続きますので、どうぞご自愛ください。今後ともよろしく願い申し上げます。

東日本物流センター東日本営業本部(センター長:木下 敦裕)



世界の拠点から
- From the base in the world -



まだまだ寒い日が続いておりますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。これからの季節、気温差が激しいと身体に負担が掛かりやすくなるので、くれぐれもご自愛ください。

この度、福岡営業所移転に伴い、2/3より西日本物流センターとして新しくスタートをしました。場所は福岡県糟屋郡粕屋町となります。具体的なアクセスとしましては、九州自動車道の福岡インターチェンジを降りて車で約10分です。電車を利用しましても、博多駅から乗り換えを1本、JR香椎線土井駅から徒歩約10分と、交通アクセスの良い立地となります。お近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください。また、倉庫面積約600坪と、旧福岡営業所の約6倍の広さがあります。在庫数も以前の5倍程度を目指し、在庫拡充に向け取り組んでおります。

これを機に、皆様のご期待に添えますよう、所員一同一層の努力を重ねていく所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

〒811-2313 福岡県糟屋郡粕屋町江辻840-2 ロジポート福岡粕屋305 TEL:092-939-5154 FAX:092-939-5165



西日本物流センター(江頭 慎司)

皆様いかがお過ごしでしょうか。今回は、愛知県南知多の豊浜 魚ひろばを紹介いたします。

ここは知多半島の先端に近い豊浜漁港に隣接している、海産物を取り扱う施設です。以前ほどお店の軒数は無いようです。しかし、三河湾や伊勢湾で獲れた新鮮な海産物を取り扱う鮮魚店が、何軒か入っており、新鮮な魚を購入することができます。(朝獲れたばかりの魚も購入できるようです…)

他には、知多郡の美浜に本店がある、『えびせんべいの里』の魚ひろば店もあり、えびせんべいも購入することができます。

また、新鮮な海産物を使った海鮮丼やシラス丼、穴子寿司などを食べることができる食堂も、何店かあります。そのため、食事とお土産購入が一度にできる施設となっています。

名古屋方面からのアクセスも良く、近隣には温泉旅館等もありますので、皆様も南知多の豊浜まで足を運ばれてはいかがでしょうか。

名古屋営業所(所長:高橋 鉄夫)

2025年になり、大阪ではEXPO2025大阪・関西万博の機運が高まっています。全国的には賛否両論で盛り上がり欠けるといわれています。しかし、報道などでも関心を高めようと、ニュースで取り上げられる事も多くなっており、今年の4月13日から6カ月間行われるため、開催までもう間もなくですが、建設が間に合わないなど、情報が飛び交っています。

大阪南港をクルマで通った際、ちょっと回って夢洲の方に行ってみると、会場工事が急ピッチで行われていました。大屋根リングは完成して、入場ゲートなどもしっかりできていました。大屋根リングは大きいと聞いてはいたものの、ニュースの画像とは全然違い、想像以上に大きい。関心が低いといわれていますが、会場に近づけばイメージが変わりますよ。万博にも、機会があれば行ってみたいですね。

大阪営業所(所長:藤谷 弘行)

インドネシアの約87%の国民はイスラム教の信者たちです。イスラム教の教えでは7歳頃から年1回だけ1か月間の断食をしなければなりません。

3月1日からインドネシアを入れて世界中のイスラム教の信者たちは断食をします。インドネシアの習慣では断食に入る前に会社の同僚や友達と一緒に食事会をして、さらに、その時に1年の中で何か悪いことをしてしまったことがあるなら、お互いに謝り合います。謝り合うことで1か月間の断食を気軽な気持ちで過ごすことができます。

断食中の他の習慣はイスラム教の聖書を読むことです。これは最初から最後のページまで1か月の間に全部読むということです。イスラム教の聖書のページ数は604ページ、断食の約30日の間にすべて読みたければ1日20ページぐらい読む必要があります。イスラム教の聖書の字はアラビア語であり、20ページを読むのに約30~40分ぐらいかかります。人によって断食中に1、2回または5~10回ぐらいイスラム教の聖書を読み終わっています。私も毎年断食の時にイスラム教の聖書を読みますが、すべてのページを読むのは1回だけしかできません。

KJI(インドネシア)(工場長:S.Akhyar)

~夏も冬も重宝~

今年は例年に比べると暖かめの日が多い蘇州ですが、まだまだ冷え込む日が続きそうです。お茶好きの私は引き出しの片隅に日本茶、中国茶のお茶葉をキープしており、休憩時には体を温めてくれます。

お茶の文化が豊かな中国では普段からマイボトルにお茶を入れて持ち歩くスタイルがポピュラーです。元来、中国では冷たい物はあまり体に良くないとされているため、公共施設では必ずと言っていいほどお湯の給水機がおかれています。空港、駅、観光スポット、コンビニ、ガソリンスタンドなどなど、ほとんどの場所で無料で利用ができます。お気に入りのお茶葉を入れておき、コンビニで「ちょっとお湯ちょうだい!」と手軽に補充ができちゃいます。時には弊社の警備室にも通りがかりの人が立ち寄り「お湯ちょうだい」なんてことも珍しくありません。昔は簡単なプラスチックボトルやコーヒーの空き瓶を愛用する人も見られましたが、最近は保温性のよいコンパクトな水筒で夏も冬も重宝しています。私も暑いときは冷たいお茶やスポーツドリンクを、寒い冬には熱々のコーヒーを入れ、すっかり手放せなくなりました。

KHE(中国・蘇州)(総経理:山本 博史)

2025年がスタートしました。アメリカではご存知の通り第2期トランプ政権が誕生し、選挙中に公約に掲げていた方針を次々発表してアメリカファーストを推し進めているように感じます。

さて、2月9日に恒例のアメリカンフットボールのチャンピオンを決めるスーパーボウルがルイジアナ州ニューオーリンズで開催されます。こちらを読まれているころには、結果が出ていることでしょう。今回の対戦は2年前と同じ顔合わせで、AFCチャンピオンのカンザスシティ・チーフス VS NFCチャンピオンのフィラデルフィア・イーグルスとなりました。

今年の大注目はチーフスが史上初となる3連覇を達成できるかどうかです。過去にダイナスティと称されたカウボーイズ、スティーラーズ、49ers、

ペイトリオッツの偉大なチームでも2連覇しか達成しておらず、今回チーフスがどのチームも成し遂げたことのない偉業にチャレンジします。

もう一つの楽しみでもあるハーフタイム・ショーはラッパーのケンドリック・ラマーが出演します。これまでグラミー賞(17回)をはじめ数々のミュージックアワードを受賞したスーパースターの1人です。今回はどのような演出になるかととても楽しみです。

ハーフタイム・ショーとは関係ありませんが、テイラー・スウィフトもチーフスのタイトエンド(攻撃ポジション)のケルシーを応援しに観客席にいる事は間違いのないと思います。因みに、今年の観戦チケットの最安値は\$4,800(約75万円)だそうです。

KCS(アメリカ)(GM:Ayano Donnelly)

シンガポールのマンダイ・ワイルドライフ・リザーブは最近、3.3kmの遊歩道を無料で一般公開すると発表しました。この遊歩道は川をテーマにしたサファリパーク・リバーワンダーズと動物園の近くに作られています。この『無料』という言葉がある以上、多くの人が訪れて楽しむだろうと思います。

ある日曜日、私たちはこの遊歩道に行きました。午前8時頃に到着しましたが、あまり人はいませんでした。バスの乗り場から少し歩くと(+/-100m)、遊歩道の入り口を見つけました。道は平坦なので、とても歩きやすかったです。最初は、片側に水辺の景色(貯水池)が見え、もう片側には動物園があるので、面白い散歩になると思いました。しかし、個人的には、眺めがそれほど素晴らしくなく、動物園のそばにいても有意義な体験ができるわけでもない、とても退屈な散歩だと感じました。

道もかなり狭く、2人しか歩けないため大人数のグループには適していません。場所によっては景色が美しいところもありますが、そのような場所はあまりありません。

シンガポールはとても小さな都市なので、観光ポイントとして新しい場所を作ることは住民にとって常に良い経験になりますが、必ずしも興味深いものである必要はありません。

KIO(シンガポール)(E.Wong)

先週末、友人と近くの街のパブに行こうとしたのですが、二人とも車で行くのは気が進みませんでした。街の中心部までは約20km離れているので、話し合った結果、自転車で行くことにしました。こうすれば二人ともビールを楽しめます。

オランダはまさに自転車大国で誰もが自転車を持っており、最も人気のある交通手段です。オランダでは数年前から電動自転車が人気で、電動ペダルアシスト付きだと最高時速25kmで楽に移動できます。これにより、自転車で長距離を移動するのが快適になります。また、自転車専用道路が作られたことも役立っています。これは自転車専用の車線で、車やトラックはこの道路を通行できません。

私たちの村からこの『高速道路』までは約5kmで、ここに着くと街の中心部まで一直線です。信号も危険な横断歩道もなく自然の中を走れるので、これ以上望むものはありません。まだかなりの距離ですが、寒い天候の外では本当にリラックスできました。市内中心部に到着すると、防犯機能のある特別なガレージに自転車を無料で駐輪でき、100m歩くと歓楽街に着きます。

夜出かけるために自転車でここまで移動したのは初めてでしたが、今後はもっと頻繁に利用しようと思います。特に夏は暖かくなるので、心配することなく楽しめるでしょう。

KIO(オランダ)(Ferri Visser)